

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 5 日作成)

委員会名	風荷重小委員会	主 査 名：田村幸雄
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：石山祐二
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築物荷重指針案の検討と試設計等の実施	
委員構成 (委員名(所属))	田村幸雄(東京工芸大学)、浅見豊(大成建設)、大熊武司(神奈川大学)、植松康(東北大学)、上田宏(千葉工業大学)、岡田恒(建築研究所)、河井宏允(京都大学)、川口彰久(大林組)、川端三朗(日本板硝子 D&C システム)、近藤宏二(鹿島建設)、谷池義人(大阪市立大学)、田村哲郎(東京工業大学)、中村修(風工学研究所)、日比一喜(清水建設)、丸川比佐夫(泉創建エンジニアリング)	
設置 WG (WG 名:目的)	設計風速 WG:設計風速の算定方の検討, 風力係数・風圧係数 WG:風圧、風力データベースの整理, 応答 WG:各種ガスト影響係数の検討, 流体計算 WG:風荷重算定のための CFD 技術の検討	
2003 年度予算	380,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	風荷重小委員会の開催は、改訂指針原稿の追い込みということもあり、4/15(12人)、5/22(15人)、7/7(13人)、8/14(11人)、8/15(11人)、8/26(10人)、9/11(9人)、10/7(13人)、11/4(15人)、12/26(10人)、1/30(11人)、3/4(13人)の12回を数えた。これに対応して、4つのWGやその下のサブWGも各々同程度の回数開催され、当初の目標を達成すべく献身的な努力がなされた。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>今年度は、建築物荷重指針の第6章・風荷重の本文、解説の原案を作成し、風荷重の各項目に関して、大幅な改訂がなされた。特に、耐風設計への風向係数の導入、風圧係数・風力係数の充実、風荷重の組み合わせの考慮が大きな改正のポイントであり、より合理的で経済的な耐風設計が可能となった。</p> <p>構造委員会での再査読が3月に終了する予定である。現在、最終的な編集作業、設計者へのヒアリングを行っている段階であり、今年度中にほぼ作業は終了し、来年度に改訂版が出版される予定である。</p> <p>委員会 HP アドレス:</p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 目標の達成度当初の計画はほぼ達成された。
その他評価すべき事項	